

ミス青年秘書 海外出張編



8月22日—国際学会前日

●社長を筆頭に各企業の参加者20余名が無事に現地のホテルへ到着

恐れていた国際線のトラブルもなく事務局としては一旦峠を越えた思いだ

明日の集合までは自由時間なのでチエツクインを済ませた社長と△△先輩が足早にホテルを後にする

「一歳上でもう社長のお供をしてるなんて……超エリートだ」

「親会社にいた頃は社長の担当秘書だったらしいのだけど……」

「わっ、まぎ、どぎ……」
「ジロジロ見てたの気付かれたかな」

女性陣は有名ブランドの本店に行きたい

安月給の僕は自転車ですりかきで市内観光することにした

自由奔放と噂の新社長はどこで何をしているやら
もし明日の朝ロビーに
いなかったらどうしよう...

同行した先輩を信じて
不安を頭から追い出した

夕食の後は
気の合う仲間と
凱旋門に登った

ライトアップされる
エッフェル塔

最高潮になる
みんなのテンション

僕も仕事でここに
来たことを忘れて
浮かれていた

8月24日—ポスターセッション

今日は社長の姿はない——
各国委員長のミーティングだ
ボスの不在は気楽なもの…

また社長が変な仕事を
持って来なければ
良いけど…

暇そうにしてる先輩に
他国の参加者が話しかけた

英語は苦手だけど…
どうやらディナーの
お誘いらしい

やっぱり断る先輩



今晚もお偉いさんの
お酌をさせられる
みたいだ





PLEASE
DO NOT
DISTURB

そういえば最後に
先輩とサシ飲み
したのはいつ
だったっけ...

一度くらい
先輩を飲み
誘ってくれ
ても
良いのでは...と思う



8月27日 パーティーナイト

閉会前夜
各国の代表者に同伴した
奥様方が着飾っている

そして社長の隣には
ドレス姿の…先輩？

先輩がこんなこと
するハズがない！

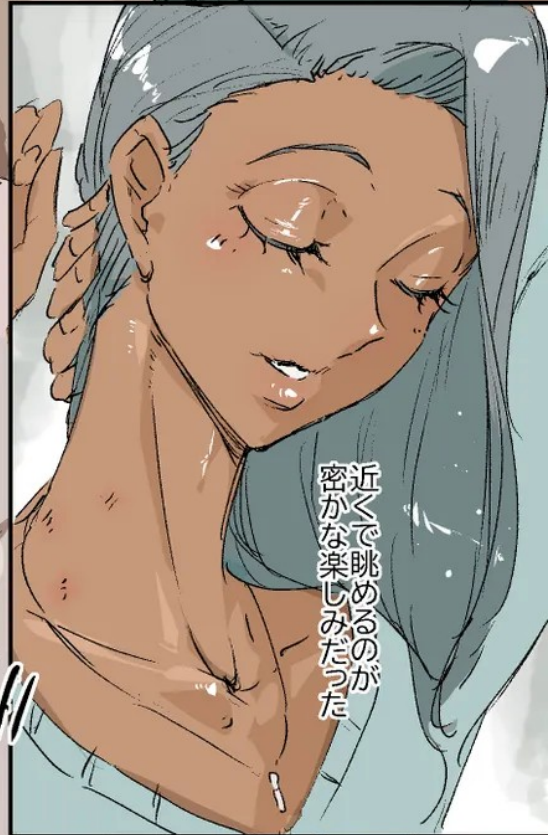
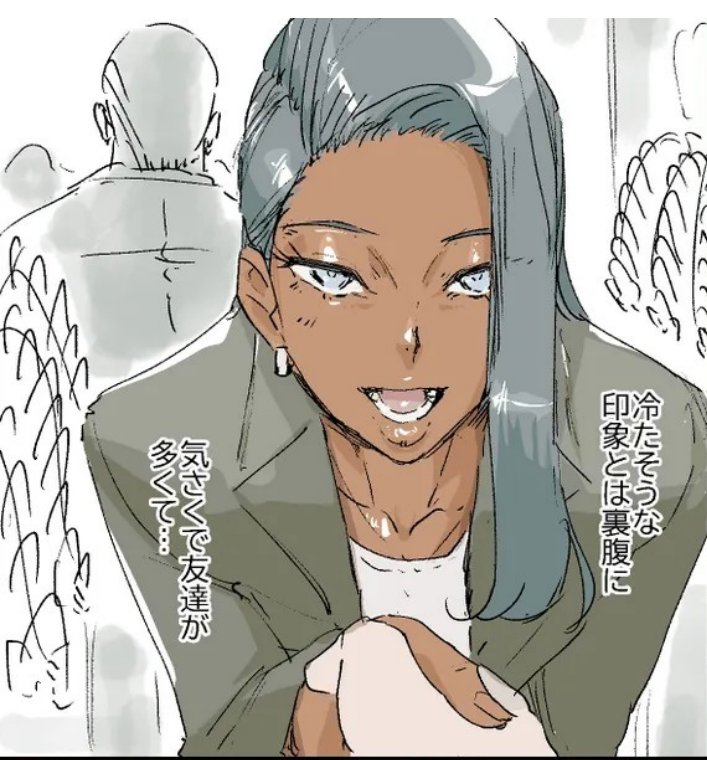
きつと脅されて
無理矢理…





どうして今まで
気付かなかったんだろう

こんな単純なこと



その夜僕は
めちやくちや
オナニーした

翌朝
朝食のビュツフェに
先輩が来ていた

絶対こいつを
モノにしてやる

海外経験で
人は変わるらしく

今まで興味のなかった
出世欲や所有欲が

反動を伴い
身体中を駆け
巡っていた

終